

食育だより

保護者様用



1月24日～30日は **学校給食週間** でした。

日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町の小学校で始まりました。その後、全国に広まり実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止せざるを得なくなった時期がありました。やがて、戦争が終わり、明治21年12月24日に東京、神奈川、千葉の3都県の学校で試験給食が実施されました。それ以来、12月24日を学校給食感謝の日と定めていましたが、冬休みと重なるため、1月24日から30日までの一週間は「全国学校給食週間」となりました。また、農林水産省では毎年一月を「食を考える月間」としています。

そこで相馬市では、学校給食週間に合わせて、旬の食材を活用した献立給食を実施しました。子どもたちは、旬の食材を味わっていました。



ごはん 味付けのり
牛乳
大根の即席づけ
鮭の塩焼き
すいとん汁

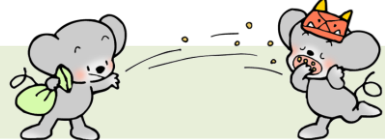


ほっきごはん 牛乳
ブリの照り焼き
ポパイサラダ
青のりのみそ汁
一口ゼリー



なみえ焼きそば
牛乳
揚げしゅうまい
白玉入りフルーツポンチ

豆まき集会を行いました



2月1日（水）のお昼休み、全校生で豆まき集会を行いました。集会では、節分クイズをしたり、各学級の追い出したい鬼と招きたい福の神を発表したりしました。その後、年男・年女の5年生による「おにはーそと！ふくわーうち！」のかけ声に合わせて豆まきをしました。各ご家庭でも、追い出したい鬼、招きたい福の神についてぜひ話題にしていだけたらと思います。



給食だより

日立木小学校
令和5年2月3日

児童用



節分は「季節を分ける」という意味で、季節の変わり目を意味します。節分は、冬と春の変わり目である「立春」の前日です。この季節に起こりがちな病気や災害・邪気をオニに見立て、それを追い払う儀式が節分の由来なのだそうです。みなさんはどんなオニを追い払いたいですか？

2月3日は節分！ [うまいかないとき、こんな思いこみや考え方のクセが影響していることがあります。福を呼びこむために、心の中のオニに気がついて、考え方を改めてみましょう！]

心の中に思いこみオニが潜んでいませんか？

決めつけオニ

「今までできなかったから、練習してもできないにちがいない」と信じこんでしまう。例：練習してもできないに決まっている。

“白くろ”オニ

なんでも白くろははっきり(よいことだ！わるいことだ！)と決めたがる。例：友だちの失敗をゆるせず、すぐ「先生に言う！」と言ってしまう。

“～べき”オニ

「～すべき！～であるべき！」と考える。友だちや家族にきびしくなる。今の状態をゆるせないと感じる。例：友だちなら～すべきなの にひどい！

自己否定オニ

わるいことが起きるとなんでも自分のせいだと思ってしまう。例：試合に負けたのは自分のせいだ。

“深読み”オニ

一部の情報や話などから、物ごとをわるい方に深読みしてしまう。例：私に声をかけてくれなかったのは私を嫌いだからに違いない。

“先読み”オニ

まだ行動にうつしていないことを「どうせ失敗するに決まっている」と思いこみ、チャレンジしない。例：どうせ失敗するからやらない。

「ひいらぎいわし」ってなに？



ひいらぎの葉は、2年小丸航大くんが家からもってきてくれました。

みなさんは、ひいらぎいわしを知っていますか？左の写真のように、ひいらぎにいわしの頭を刺したもののことです。ひいらぎいわしとは、節分に魔除けや厄除けを目的に玄関などに飾られます。トゲトゲしたひいらぎの葉といわしのおいさをオニは嫌うそうです。今年は、年男・年女の5年生が、昇降口や各教室に飾ってくれました。

みんなでオニを追い払い、一年の健康を願いましょう。